



令和2年10月28日
室蘭開発建設部 広報官

報道機関各位

「イザベラ・バードが辿った“みち”を活かして」 フォーラムを開催します！

～歴史と文化から地域の未来を考える～

室蘭開発建設部では、7月12日の民族共生象徴空間（ウポポイ）の開業を踏まえ、アイヌ文化ゆかりの地であり、また、英国人旅行家で「日本奥地紀行」の著者イザベラ・バードが辿った地でもある胆振・日高地域の歴史や文化、景観などの様々な地域資源について理解を深めてもらうため、関係団体との共催によるフォーラムを下記のとおり開催します。

本フォーラムは、広域交流のより一層の促進及びシーニックバイウェイ北海道の取組や「道の駅」との連携を通じた地域づくりの活性化を図ることを目的としております。

記

- 開催日時 令和2年11月6日（金）13：30開会（13：00～受付・開場）
- 開催場所 室蘭市市民会館 大ホール（北海道室蘭市輪西町2丁目5番1号）
- 主催 歴史と文化から地域の未来を考える
～イザベラ・バードが辿った“みち”を活かして～ 実行委員会
(別紙参照)
- 内容 第1部 基調講演
(筑波大学 名誉教授 石田 東生 氏)
(イザベラ・バードの道を辿る会 会長 金子 正美 氏)
第2部 地域の現状
(公益財団法人 アイヌ民族文化財団 専務理事 今井 太志 氏)
(新ひだか町商工会 事務局長 渡辺 勝造 氏)
第3部 パネルディスカッション
「イザベラ・バードが辿った”みち”を現代に活かす」
- その他 参加料無料ですが、事前申込みが必要となります。（11月1日（日）締切り）
※申込先は別紙参照願います。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

広報官 三木 和美 電話 0143-25-7051（ダイヤルイン）

特定道路事業対策官 石塚 達也 電話 0143-25-7046（ダイヤルイン）

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>

室蘭開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit_hkd_mr



2020
11
fri 6〈会 場〉
室蘭市市民会館
大ホール北海道室蘭市
輪西町2-5-1定員
200名様
参加料無料

要事前申し込み

【お問合せ】歴史と文化から
地域の未来を考える～イザ
ベラ・バードが辿った“みち”
を活かして～実行委員会

(一社)北海道開発技術センター内

011-738-3363

【担当】中村(幸治)、橋本

1831年(天保2)、イギリスのヨークシャーのパラブリッジで、英国教会牧師の長女として生まれたイザベラ・バードは、1878年(明治11)に来日し、横浜から東北、北海道の約2,250キロを人力車、牛や馬、徒歩、川船などを使って旅をした。その旅は数か月にも及んだという。その旅の記録として出版した「日本奥地紀行」は、女性探検家としてのバードの鋭い観察眼と優れた表現力で一級の歴史書ともいえるものになっている。

〈歴史と文化から地域の未来を考える〉

イザベラ・バードが辿った
“みち”を活かして

本フォーラムは、本年7月12日の民族共生象徴空間「ウポポイ」の開業を踏まえ、アイヌ文化ゆかりの地であり、また英国人旅行家で「日本奥地紀行」の著者イザベラ・バードが辿った地でもある胆振・日高地域の歴史や文化、景観などの様々な地域資源について理解を深めることにより、広域交流のより一層の促進及びシーニックバイウェイ北海道の取組や道の駅との連携を通じた地域づくりの活性化を図ることを目的としています。

プログラム

★13:00～ 受付・開場

★13:30～ 開会

★13:40～ 〈第1部〉基調講演

- ・石田 東生 氏(筑波大学 名誉教授)
- ・金子 正美 氏(イザベラ・バードの道を辿る会 会長)

★14:50～ 〈第2部〉地域の現状

- ・今井 太志 氏(公益財団法人アイヌ民族文化財団 専務理事)
- ・渡辺 勝造 氏(新ひだか町商工会 事務局長)

★15:20～ 休憩(15分)

★15:35～ 〈第3部〉

「イザベラ・バードが辿った“みち”を
現代に活かす」

- ・石田 東生 氏(コメンテーター)
[筑波大学 名誉教授]
- ・原 文宏 氏(コーディネーター)
[(一社)シーニックバイウェイ支援センター 代表理事]
- ・新保 元康 氏[NPO法人ほっかいどう学
推進フォーラム 理事長]
- ・笹森 琴絵 氏[イザベラ・バードの道を辿る会
室蘭支部 会長]
- ・今井 太志 氏[公益財団法人アイヌ民族
文化財団 専務理事]
- ・山本 清二 氏[室蘭開発建設部 次長]

★17:05～ 閉会

〈主 催〉歴史と文化から地域の未来を考える
～イザベラ・バードが辿った“みち”を活かして～
実行委員会

〈構成員〉イザベラ・バードの道を辿る会、(一財)日本みち研
究所、北海道地区「道の駅」連絡会、(一社)北海道
開発技術センター、(一社)シーニックバイウェイ
支援センター、国土交通省 北海道開発局/国土
交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部、北海道
〈事務局〉国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部、
(一社)北海道開発技術センター

〈後 援〉室蘭市、白老町、平取町、日高町、公益社団法人
アイヌ民族文化財団、NPO法人ほっかいどう学
推進フォーラム(予定)

〈歴史と文化から地域の未来を考える〉
イザベラ・バードが辿った“みち”を活かして

お申込み・お問合せ

歴史と文化から地域の未来を考える
～イザベラ・バードが辿った“みち”を活かして～ 実行委員会
〈（一社）北海道開発技術センター内〉

TEL:011-738-3363 FAX:011-738-1889

担当：中村（幸治）・橋本（〈E-mail〉isabella@scenicbyway.jp）

ご所属・担当部署、連絡先（電話番号）、氏名を明記し、Eメール・FAX（下記申込み用紙）にてお申し込みください。
※ご提供いただいた情報は、フォーラム開催の目的以外には一切使用いたしません。

所属/担当部署/連絡先	氏名
[連絡先： ()]	
[連絡先： ()]	
[連絡先： ()]	